

災害速報

(平成18年4月13日)

《建設業労働災害防止協会 宮城県支部》

足場上でビニールシート養生作業中、 感電して**死亡**！

—今年に入って建設業で3人目となる—

去る4月3日(月)午後3時40分頃、仙台市宮城野区にある鋼材製造会社の工場内で、解体作業員(男、31歳)が作業中に感電して死亡しました。

作業は、工場の建物内部の壁面に吹き付けてあったアスベスト(石綿)を撤去するため建物内に約20メートルの足場を設置し、アスベストを撤去するためビニールシートで養生作業中に発生した模様です。被災者が足場上で作業中に、工場建物内の天井クレーン用として壁面に設置していたトロリー線(交流400V)に感電して死亡したようです。

詳しい発生状況等については所轄の仙台労働基準監督署で調査中ですが、通電中のトロリー線には絶縁対策をすべきではなかったかと思えます。これから暖かくなり感電災害が心配されますので、事前の対策を確実にとられるようお願い致します。先月、3月は「年度末労働災害防止強調月間」でしたが、皆様のご努力で死亡ゼロで経過したのに残念です。

来る6月は「全国安全週間準備期間」です。各現場の安全管理活動の一層の推進をお願いいたします。